

議案審議

■第1回定例会（3月）に市長から提出された議案は、新年度予算案7件（4〜9ページ）のほかに、条例に関する議案19件、補正予算案8件、その他議案2件、あわせて36件を可決・同意しました。

■委員会提出議案は、新規条例案1件、条例改正案1件、規則改正案1件を可決しました。

■審査した陳情7件は、6件が不採択、1件が趣旨採択となりました。

主な議案の概要は次のとおりです。



市長提出議案

■損害賠償責任の限度額を規定

羽村市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例

【主な内容】 地方自治法の規定に基づき、市長や職員等の市に対する損害賠償責任の一部を免責することについて、必要な事項を定めるため、条例を制定するものです。

【施行日】 令和5年4月1日

【議決結果】 原案可決

■いじめ防止等の対策を推進するため、新たな条例を制定

羽村市いじめ防止対策推進条例

【主な内容】 いじめの防止等のための対策に関し、基本理念を定め、市、学校、教職員及び保護者の責務並びに地域住民の役割を明らかにするとともに、対策の基本となる事項を定めることにより、総合的かつ効果的に対策を推進する必要があることから、条例を制定するものです。

【施行日】 令和5年4月1日

【議決結果】 原案可決

■自動車運行時に乳幼児の所在確認を行うことを規定

羽村市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

【主な内容】 関係法令の施行に伴い、安全計画の策定や自動車運行時の乳幼児の所在の確認、衛生管理などの規定を追加するとともに、懲戒に係る権限の濫用禁止の規定を削除するものです。

【施行日】 令和5年4月1日、懲戒に係る権限の濫用禁止の規定の削除については、公布の日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 安全計画はいつまでに作成するのか。

A 令和5年4月1日から安全計画の策定が義務化されるため、すでに事業所に周知し、計画策定に取り組んでいただいている。

■緩和措置としての市独自の特例支給の基準を見直し

羽村市児童育成手当条例の一部を改正する条例

【主な内容】 児童育成手当（障害手当）の市独自の所得制限に係る特例支給について、基準の見直しを行うものです。

【施行日】 令和5年4月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 条例改正により、影響を受ける人数と金額は。

A 17人を想定し、市の支給額は108万円の減額となる。

Q 見直しの判断をした理由は。
A 東京都の所得基準見直しの緩和措置として実施して20年がたち、一定の役割を果たしたと判断したため。

討論

【反対】 財政難を理由に、障害のある子どもを育てる保護者への手当を先に見直すことは順番が違う。

まずは、区画整理事業の予算を縮減すべき。（日本共産党）

【賛成】 将来にわたり安定的な財政運営を行うためには、やむを得ないと考える。今後、速やかに支援の手が届く運営を心がけることを望み、賛成。（新緑会）

【賛成】 緩和措置として開始し20年が経過した。市の財政状況を考慮すれば見直しも必要。今後、新たな支援策を講じるなど支援策の充実を要望し、賛成。（新緑会）

■初任層に重点を置いた改定

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【主な内容】 東京都人事委員会勧告を勘案し、給与水準の公民較差の是正を図るとともに、厳しい財政状況を踏まえ、地域手当、管理職手当の減額措置を延長するものです。

【施行日】 公布の日、初任給・給料表の改定は令和4年4月1日、勤勉手当の改定は令和4年12月1日から適用

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 近隣の市町村と比較して初任給の差はどれくらいあるか。

A 給料表が同じであり、初任給は同様だが、地域手当の支給率が羽村市より高いため、地域手当分の差が生じている。

Q 地域手当は、市の財政状況を勘案して減額措置をしているが、規定どおりに戻す考えはあるか。

A 財政状況を見ながら、職員組合とも協議しながら検討していく。

■消防団員の出勤報酬基準を新たに設置

羽村市消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

【主な内容】 消防団員の処遇改善を図るため、総務省消防庁の基準に基づき、消防団員が災害時等に出勤した際の出勤報酬を新たに設けるものです。

【施行日】 令和5年4月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 消防庁の基準は1日8000円だが、市独自の報酬区分を定めたのはなぜか。

A 消防団本部と意見交換を行い、出勤時間の実績を考慮して3つの時間区分を設けた。



放水訓練を行う消防団員

■消防団員の資格要件を拡充

羽村市消防団条例の一部を改正する条例

【主な内容】 消防団員の確保を図るため、在住、在勤の要件を見直し、年齢上限を満45歳未満から満55歳未満に引き上げるものです。

【施行日】 令和5年4月1日

【議決結果】 原案可決

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継（3月7日・3月24日分）をご覧ください。

■市長提出議案の議決結果

<第1回定例会(3月)で全会一致となった議案>(令和5年度当初予算を除く)

件名	議決結果
羽村市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 →P11	
羽村市長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	
令和5年度における羽村市長等の給料等の特例に関する条例	
羽村市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例→P10	
羽村市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
羽村市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	
羽村市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
羽村市国民健康保険条例の一部を改正する条例	
羽村市消防団条例の一部を改正する条例 →P11	
羽村市消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 →P11	
羽村市健康で安心して暮らせるまちづくり基金条例を廃止する条例	
羽村市被災者一時宿泊所条例を廃止する条例	
羽村市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例 →P10	
羽村市いじめ防止対策推進条例 →P10	
羽村市福祉センター条例の一部を改正する条例	
羽村市介護保険条例の一部を改正する条例	
羽村市印鑑条例の一部を改正する条例	
損害賠償額の決定について	
令和4年度羽村市一般会計補正予算(第8号)	
令和4年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	
令和4年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第2号)	
令和4年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第3号)	
令和4年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第2号)	
令和4年度羽村市水道事業会計補正予算(第2号)	
令和4年度羽村市下水道事業会計補正予算(第2号)	
令和5年度羽村市一般会計補正予算(第1号)	
教育委員会委員の任命について	原案同意

凡例

■各会派の賛否■

議案／

○…賛成

×…反対

※表中の二段書きは、会派内で賛否が分かれたことを表します。

陳情／

○…採択

×…不採択

□…趣旨採択

■会 派 名■

緑…新緑会

公…公明党

令…令和かがやき

共…日本共産党

新…新政会

ネ…市民ネットワーク

世…世論

自…自由民主党創生

<第1回定例会(3月)で賛否の分かれた議案> (令和5年度当初予算を除く)

件名	会派名 (数字は人数)								議決結果
	緑	公	令	共	新	ネ	世	自	
	(4)	(4)	(3)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	
羽村市児童育成手当条例の一部を改正する条例 → P11	○ ×	○	○	×	○	×	×	○	原案可決

<令和5年度当初予算の議決結果>

件名 (詳細は P4 ~ P9 をご参照ください)	会派名 (数字は人数)								本会議での 議決結果
	緑	公	令	共	新	ネ	世	自	
	(4)	(4)	(3)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	
一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
羽村市国民健康保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
羽村市後期高齢者医療会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
羽村市介護保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理 事業会計予算	○ ×	○	○	×	○	×	×	○	
羽村市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
羽村市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	

■陳情の審議結果

件名	審査した 委員会	会派名 (数字は人数)								本会議での 議決結果
		緑	公	令	共	新	ネ	世	自	
		(4)	(4)	(3)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
消費税・適格請求書等保存方式 (インボイス制度) の導入延期を働きかける国への意見書提出を求める陳情書	総務 委員会	○ ×	×	×	○	×	○	○	×	不採択
憲法第 16 条の解釈を明らかにすることを求める陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
指定管理者について、明らかにすることを求める陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
羽村市内にドッグランの設置を求める陳情書	厚生 委員会	□	□	□	—	□	□	□	□	趣旨採択※
「羽村駅西口土地区画整理事業」の見直しを求める陳情書	議会運営 委員会	○ ×	×	×	○	×	○	○	×	不採択
介護保険制度の改善を求める陳情書	厚生 委員会	○ ×	×	○ ×	○	×	○	○	×	不採択

※趣旨採択を求める討論と採決 (採択) を求める討論があり、まず趣旨採択を諮った結果、賛成多数で趣旨採択と決定しました。

■委員会提出議案の審議結果

件名	提出した委員会	本会議での 議決結果
羽村市議会の個人情報の保護に関する条例	議会運営 委員会	原案可決
羽村市議会委員会条例の一部を改正する条例		
羽村市議会会議規則の一部を改正する規則		

一般質問

一般質問とは、議員が市の施策の状況について質問することです。

第1回定例会では、

2月28日、3月1日、2日の3日間にわたり

16人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁内容は、3月時点のものです。



《Q》羽村消防署は設置できないか

《A》東京都に設置を求める考えはない



濱中 俊男 議員（新緑会）

羽村消防署は

設置できないか

質問 常備消防を東京消防庁に委託している理由は。 **市長** 行政需要の増大のためである。

質問 羽村消防署を開設するよう、東京消防庁に働きかけできないか。

市長 設置を求める考えはない。

質問 稲城市のように常備消防を運営してはどうか。

市長 現行通り、東京都へ委託する方法が合理的かつ効果的である。

「浮きこぼれ」支援について

「浮きこぼれ」は「落ちこぼれ」の対義語で、高い学力がある児童・生徒を指す言葉である。

す言葉である。

質問 「浮きこぼれ」支援について、学校ではどのようなことができるか。

教育長 教師が授業力を高める校内研修会において、当該教科を得意とする子どもがさらに学びを深め広げるための支援策を用意して実施し、授業後、妥当性について協議している。

加美会館の大規模改修と公共施設の維持について

質問 工事の内容は。

市長 空調設備、屋上防水、外壁改修、トイレ改修、LED化等の工事を行う。

質問 羽村市公共施設等総合管理計画の想定より早く人口減少が進んでいる。施設の整理統合が必要では。

市長 人口減少で財源は必然的に変化していくため、施設の集約化・複合化・多機能化に取り組む必要性が高まっていくものと捉えている。



福生消防署羽村出張所



《Q》移動販売の具体的検討は進んでいるか

《A》相談があった場合には積極的に支援していく



高田 和登 議員（新緑会）



市内を巡回する移動販売車のひとつ

高齢者にやさしい まちづくりについて

質問 買い物難民のための移動販売の具体的検討は進んでいるか。

市長 市内事業者から移動販売について相談があった場合には、積極的に支援していく。

質問 移動販売車の駐車スペースの確保のために、公園の駐車場などの無償提供や情報提供などの支援としては。

市長 事業者から公園の駐車場などの公共施設を無償提供することなどについて相談があった場合には、他事業者との公平性なども考慮し検討していく。

子育てしやすい まちづくりについて

質問 日本経済新聞社等が実施した2022年版「共働き子育てしやすい街ランキング」全国4位の高評価をもっとPRしては。

市長 市公式サイトや公式Twitter、YouTubeなどのメディアを通じて発信し、市への転入の促進と定住に繋げていく。

愛玩動物・ペットについて

質問 横浜市のように費用補助を行い、犬や猫のマイクロチップ装着を推進しては。

市長 現時点では装着費用を補助する考えはないが、有用性などを周知していく。
質問 市が狂犬病の特例制度に参加しない理由は。

市長 西多摩地域で統一した対応を執ることとしている。登録事務に関する課題を整理し、今後の対応を検討する。



《Q》東京都水道事業との一元化について

《A》あらゆる方策を検討していく必要がある



石居 尚郎 議員（公明党）



羽村堰近くにある東京都水道局羽村取水管理事務所

羽村のまちづくりの未来は水道事業について

質問 東京都水道事業との一元化について市の考えを聞く。

市長 水道ビジョンに掲げた施策を推進しつつ、水道料金の適正化なども含め、あらゆる方策を検討していく必要があると考えている。

質問 都は、「TOKYO 強靱化プロジェクト」に資する市町村下水道事業への支援への充実について」を本年1月に発表した。市の取り組みは。

市長 都の動向を注視し、制度化した際には、最大限活用できるよう取り組む。

羽村の教育に明るい未来を

質問 幼保小の連携と架け橋プログラムについて、来年度以降の取組みは。

教育長 「幼保小の連絡会」を年間3回開催する。令和6年度以降も継続してさらなる充実を図っていく。

質問 校則の見直しは社会の変化等を踏まえた、柔軟性あるものとなっているか。

教育長 子どもたちが校則について検討する過程で、保護者等の意見を参考として取り入れるなど、校長会で働きかけていく。

質問 市が理想とする教育像をどう描いて、未来に繋いでいくのか。

教育長 次代を担う人材を育成することは、最も重要な「未来への投資」である。「全ての子どものよさと可能性を引き出し、伸ばす教育」を実現していく。



《Q》今後、オンライン化する手続きはあるか

《A》各種手続きのオンライン化について研究していきたい



富松 崇 議員（新政会）

教育行政の

デジタル化について

質問 保護者からの各種手続きでオンライン化している手続きはあるか。

教育長 別途書類の提出が必要になることなどから、現時点ではオンライン化している手続きはない。

質問 今後、オンライン化する手続きはあるか。

教育長 市民の利便性を踏まえ、電子申請等の業務のオンライン化について、進めていく必要があると認識している。申請時の書類の簡素化などを検討した上で、各種手続きのオンライン化について研究していきたい。

コミュニティバス「はむらん」の

広域連携について

コミュニティバスが近隣自治体への乗り入れや相互乗り入れを行うことで、交流人口の増加や利用市民の利便性の向上、市内経済・西多摩全体の経済活性化にもつながると考える。

質問 羽村駅・小作駅・河



市内を走るコミュニティバス「はむらん」

辺駅・福生駅・箱根ヶ崎駅などを結節点として広域連携を図ることについて市の考えはどうか。

市長 既存のバスやタクシー等の交通事業者との競合の可能性などの問題もあるため、慎重に対応する必要がある。西多摩地域の広域連携の促進や共通課題の解決策として、コミュニティバスをはじめ、広域公共交通であるモノレールや路線バスなどの有効性、実現性等について、近隣自治体間で情報交換を行っていきたい。



《Q》区画整理基本方針の優先整備の進め方は

《A》土地区画整理事業をベースに進めていく考え



秋山 義徳 議員（新政会）

今後の羽村駅西口

土地区画整理事業について

質問 区画整理基本方針の優先整備の進め方は。

市長 土地区画整理事業をベースに進めていく。併せて、令和5年度にアドバイザーの助言等を得ながら、整備手順や事業費削減の方策、土地区画整理事業以外の整備手法をエリアの特性を考慮して地区の一部に取り入れることができるかについて、庁内で検討していく。

質問 3・4・12号線整備と羽村大橋拡幅工事について東京都との協議状況は。

市長 関係権利者のご理解とご協力をいただきながら、道路用地の確保を進めると



区画整理で造成工事完了間近の川崎4丁目エリア

ともに警視庁との協議に向け、東京都と協議を進めている段階である。

災害への万全な

備えのための訓練について

質問 総合防災訓練は、災害協定を締結した団体を含め、現実を想定したものにしているかどうか。

市長 これまでも災害時応援協定を締結している団体との訓練を実施しており、今後も、より実践的な訓練となるよう訓練内容を検討していく。

歩行者・自転車の

交通安全について

質問 自転車通行帯の市内道路の設置状況はどうか。

市長 市道の改修工事に合わせて自転車レーン等の表示を行っている。



《Q》市役所に証明書が取得できるマルチコピー機の設置を！

《A》コンビニ交付でき、来庁せずに利便が図られている



大塚 あかね 議員（令和かがやき）

市民により優しく、環境にも

優しい市民サービスを求める

質問 マルチコピー機のあるコンビニでは、マイナンバーカードで印鑑登録証明書が取得できる。市役所にも設置しては。

市長 市内28か所でコンビニ交付ができ、市民の皆様が利便が図られていると捉えている。今後、行政手続きのデジタル化の動向を注視していく。

質問 高騰する電気代の節約のためにもウォームシェア、クールシェアスポットを市役所内に設けては。

市長 昨年夏に熱中症対策として、涼んでいただけるとして、休憩場所を市役所などの共用スペースに設けた。今後



市内にあるコンビニエンスストアのマルチコピー機

も取組みを継続していく。

質問 三回目の質問となるが、「給水スポット」を設置すべきではないか。

市長 公共施設に設置している冷水機や給水栓を給水スポットとしてPRしていく。

少子化対策について問う

市の合計特殊出生率はかつて、島しょ部を除き東京都市区町村で第1位だったが、令和3年では1・22人と全国平均1・37を下回った。

質問 出生数を増やす取組みについて伺う。

市長 ハード・ソフト両面からの取組みを進める。

質問 子育て世代の転入、定住促進として、「子育て支援認定住宅」について取り組んでは。

市長 効果的な事業について調査・研究していく。

その他の質問 市の農業をどのように支えていくのか／介護する家族を支える取組みを



《Q》市内企業に「奨学金の代理返済」を推進しては！

《A》企業の人材確保につながり、周知に努める



西川 美佐保 議員（公明党）

奨学金の返還支援について

質問 市として、奨学金の返還を支援する制度を考えた。

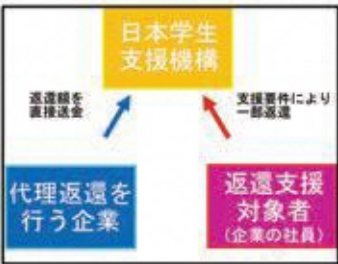
市長 地方創生の取組みとして、先行自治体の導入効果などを調査・研究していく。

質問 社員の奨学金返還を支援する、代理返還制度を、市内企業へ推奨しては。

市長 企業の人材確保につながる制度であり、商工会と連携し、周知に努める。

自立と社会参加できる学習支援を

質問 文部科学省の調査結果で、発達障害の可能性のある小・中学生の割合は、8・8%で約10人に1人と



企業の奨学金代理返還の仕組み

のことだが、市内の状況は。

教育長 小学校は9・2%、中学校が14・6%で、令和3年度と比べ増加傾向にある。

質問 市内の学校で、発達性読み書き障害「ディスレクシア」の疑いがある児童・生徒を把握しているか。また、早期発見に向けた取組みが必要では。

教育長 教育委員会への報告はないが、早期に発見・支援につなぐよう、学校を挙げて対応している。

質問 「MIM」という指導モデルは、全教科の学力向上に有効とのことである。より効果の高い教材等の活用を。

教育長 各学校と連携し、子どもたちの学びにとって有効な指導法や教材の研究を行っている。

その他の質問 「企業版ふるさと納税」とまちの活性化について

